

とり村回覧板

Vol.
26
2019年 夏号

認定NPO法人TSUBASA
「人・鳥・社会の幸せのために」
tel.048-480-6077
www.tsubasa.ne.jp
埼玉県新座市中野2-2-22

【妙(たえ)】@オカメインコ

人間好きの甘えんぼオカメインコです。若い鳥さんと変わらない綺麗な羽と、優しい性格が特徴です。食欲も旺盛で、ペレットをしっかり食べてくれます。撫でられることが大好きな甘えんぼの妙ですが高齢であり、足があまり良くないので歩行は少し苦手です。それでも、慣れたレイアウトのケージであれば自分の行きたい



ところに移動ができますし、ケージの外では人にピタリと寄り添って、撫でられているときは本当に幸せそうです。これまで、家族に愛されていた事が透けて見えるような人への全幅の信頼と、穏やかで甘え上手な性格はコンパニオンバードと呼ぶのがぴったりです。若い鳥さんとはまた違った魅力に溢れる妙にぜひ、逢いにいらして下さいね。

TSUBASA

「The Society for Unity with Birds – Adoption and Sanctuary in Asia」
(鳥と調和のとれる社会 – アジアの里親とサンクチュアリ)

TSUBASAは「人・鳥・社会の幸せのために」を理念にレスキュー活動をする団体です

TSUBASAは、インコ・オウム・フィンチと暮らす全ての方、そして動物愛護に関心をお持ちの方に対して、より良いバードライフのご提案と適正な飼育のための啓発活動を行っております。

また、様々な理由により手放されてしまった鳥たちを引き取り(里子制度)、新しい飼い主さんを探す(里親制度)活動を行っております。

回覧板を設置して くださいませんか?

広く、皆さまに活動を知っていただく事を目的とし本誌を発行しております。回覧板を設置して下さる団体様、施設様を随時募集しています!



CONTENTS Vol.26

- ぼっちゃりバードさんへ贈る 無理のないダイエット・・・1
- 老鳥とのセカンドバードライフ……………3
- 抜けた羽? 抜いた羽? 鳥たちの羽を知ろう……………5
- 発情と上手く付き合おう!……………6
- 愛鳥祭2019レポート……………7

無理のないダイエット

美味しそうにご飯を食べている鳥さんの姿って、すごく魅力的ですよね。可愛くてついついたくさん食べさせてしまう、という方も多いのではないのでしょうか？鳥さんは全身が羽毛で覆われているため、見た目では太っているかの判断がつきにくいところがあり、気づいた時には立派なぽっちゃりバードの出来上がり・・・という話も、よく聞きます。ですが、肥満は飼い主さんの意識と行動で、治すことも防ぐこともできるのです。

肥満に関わる病気の一例

「肥満は万病のもと」と言われるように、様々な病気を引き起こす可能性があります。

● 脂肪肝症候群

脂肪分の多い食事の摂取や食べすぎにより肝臓に脂肪が付き、肝機能に障害が出ます。それにより、食欲や元気が無くなったり、くちばしが長く伸びたり、羽に異常が出るなどの症状が現れます。

● 脂質異常症（高脂血症）

主に血液中の脂質（コレステロールと中性脂肪）の数値が高い状態のことで、脂肪分の多い食事や発情などが原因で起こります。脂質により血液はドロドロになり、高血圧や、いずれは心臓病や動脈硬化へとつながります。

● 趾瘤症（バンブルフット）

体重が重くなるとその分、体を支える足に負担がかかります。足の裏に負荷がかかることにより、赤みや腫れ、傷、たこのようなものができ、痛みで歩行に異常がでたり、常に片足をあげている状態が続きます。放置しておくと、細菌感染を引き起こす可能性もあります。

● 関節炎

肥満による関節への持続的な負荷により、主に肩や膝、足に発生します。

そもそもなぜ太るの？

なぜ太るのか？それは野生下と飼育下の環境の違いにヒントがあります。

野生下の鳥の生活は

「少ない食事」で「運動量の多い」生活

1日の大半を、ご飯と水場を探して移動することに費やします。

食事量も日によって変わり、仲間内の争いや天敵から逃げたりと、少ない食事で運動量の多い生活をしています。

飼育下の鳥の生活は

「豊富な食事」で「運動量の少ない」生活

安全なケージの中で栄養たっぷりのご飯と綺麗な水が毎日欠かさず供給されます。

ご飯を求めて飛ぶ必要も天敵から逃げる必要もないような、豊富な食事と運動量の少ない生活をしています。

このように、飼育下は野生下と比べて太りやすい環境にあるため、食事内容や量、遊びなどに配慮する必要があります。

また、食事内容や運動量とは別に、年をとることにより体の代謝が衰え太りやすくなる、ということもあるそうです。

肥満はどこでわかる？

鳥さんは太ると、胸部・腹部・脇や足の付け根などに脂肪が付きまします。

どこも羽毛で覆われているため外からは見えません。保定をして羽をかき分けないと確認ができないため、脂肪の有無を確かめる場合は一度かかりつけの病院で診ていただくことをおすすめします。



また、その際に獣医さんに、その鳥さんの適正体重を聞いておき、ご自宅でも体重測定を習慣化すると肥満にいち早く気付けるかと思えます。

※必ず平均体重ではなく『適正体重』を聞いてください。平均体重はあくまでその鳥種の平均的な体重で、その子にとってのベストではありません。

ご家庭でできる、鳥さんのダイエット方法

まずは食事内容の見直しを！

ヒマワリ、麻の実、カナリーシードなどの高カロリーシードが入っていないご飯に切り替えましょう。切り替えの際には全部を急に変えるのではなく、元々あげていたご飯に新しいご飯を少しずつ混ぜていき、体重の推移をよく見ながら元々のご飯を減らしていきます。

高カロリーシードは体にもあまりよくないので、たまにあげるオヤツやご褒美にとっておきましょう。

食事内容の改善後も体重や脂肪が落ちない場合は、次のやり方をお試ください。

1 1日の採食量を確認

まず初めに重要なことは愛鳥さんが1日何gご飯を食べているかを知ることです。食べ残すくらいの量のご飯を事前に測ったあと、鳥さんにあげて、翌朝残ったご飯の量を測定すれば、1日に食べている量がわかります。これを一週間ほど続けて平均を出すと、正確な採食量がわかるはずですよ。

2 ゆるやかな食事制限と体重測定

1日の採食量がわかったら、事前に目標体重を定めておいて、体重の推移を確認しながらご飯を少しずつ減らしていきます。減らす量は1回

1gずつからにして、1回減らしたら3日は様子を見ましょう。減らしている間はなるべく毎日体重測定をしてください。体重がガクッと下がったら一旦ご飯を増やすなどの対処が必要です。

3 目標体重を達成、その後は…？

ダイエットに成功したら、次はその体重を維持しなくてはなりません。もう安心、ではなく、定期的な体重測定を継続して、愛鳥さんの体重に変化がないかチェックしましょう。

日々の体重や採食量の記録をメモしておく愛鳥さんダイエットノートを作るのもおすすめ。

いろいろな体重の測り方

体重測定は健康管理の第一歩ですが、無理に測ろうとすると鳥さんとの関係が悪くなってしまいかもしれません。愛鳥さんに負担なく、かつ飼い主さんも継続しやすい測り方を探しましょう。

ちゃんと測定ができれば、大好きなおやつをご褒美にあげることがポイント。

ダイエット中でもたまのご褒美はあげてもOK、ただしあげすぎはNGです。



パーチに鳥さんを乗せ、そのまま体重計に乗せて測定

パーチがない場合はキャリーや他の物でもとにかく鳥さんが乗れば大丈夫です。乗っている間はオヤツをあげると測りやすく、鳥さんに嫌な印象を与えません。

体重計にご飯やおやつを置き、直接体重計に乗せる

食いしん坊さんはこの方法がやりやすいかもしれません。鳥さんに自分で乗ってもらう方法なので、鳥さんに嫌な印象を与えません。



ケージの中で鳥さんを捕まえ、キャリーやブラケに入れて測定。

手乗りではない鳥さんやパーチ等に乗れない場合この方法が確実ですが、捕まえられるのが嫌いな鳥さんには負担となり、飼い主さんとの関係が悪くなる可能性もあります。TSUBASAでは鳥を捕まえる時には必ずタオルを使い、時には服装を変えて別人になりすまし、鳥に嫌われない工夫をしています。

早食いに注意！

食器は空っぽ、そのうはパンパン…。腹ペコな鳥さんは、決められた量のご飯を短時間で一気に食べ切ってしまうことがあります。その結果、鳥によっては嘔吐や体調不良を引き起こす可能性もあります。その対策としては、



①1日分のご飯を朝・夕の2回、もしくは朝・昼・夕の3回などに分けて与える(分割給餌と呼びます)。

家にいる時間が長い方は、この方法で一度に食べるご飯の量を減らすことができます。

②フォーミングで時間をかけてご飯を食べてもらう。

フォーミングとは採食行動の意味で、飼い主が工夫して鳥たちにご飯を探す時間を作ってあげてをいいます。たとえば粟穂を折り紙に包んで鳥自身に開けてもらう、とか、ご飯が入った食器におもちゃなどを入れて障害物を作るなど、ご家庭で簡単に実践することができます。



早食い防止のほかにも、暇つぶしや遊びにもなりQOL向上にもおすすめです。

ただし、おもちゃや紙類などフォーミングに使うものは、鳥が飲み込まないサイズや噛んでも害がないなどの安全なものを使いましょう。事故が起こらないよう、飼い主さんは十分注意が必要です。

また、フォーミングが難しすぎたり、初めてチャレンジする鳥さんはうまくできなくてご飯が食べられないということもあります。

食べられない時は簡単にしてあげるかやり方を変えるなどをして、必ずご飯を食べていることを確認してください。

肥満の予防策／愛鳥さんを太らせないために！

- ✓ 動物病院へ健康診断にいき、獣医さんと適正体重について話し合う
- ✓ 日々の体重測定を習慣化し、体重の変化をチェックする
- ✓ 食べ放題ではなく、ご飯の量を測り1日の採食量を把握しておく

- ✓ 高カロリーシードは主食に混ぜず、おやつやご褒美の時に少しだけあげる。
- ✓ 運動のため放鳥時間を作ったり、ケージにいる間もおもちゃを入れて遊べるようにする

鳥さんのダイエットは、飼い主さんの強い意志と根気なしでは成功しません。愛鳥さんのベストスタイルを目指して、頑張ってください！

老鳥との セカンドバード ライフ



5/5	体重測定	4.9g
5/6	体重測定	4.9g
5/7	体重測定	4.9g
5/8	体重測定	4.9g
5/9	体重測定	4.9g
5/10	体重測定	4.9g
5/11	体重測定	4.9g
5/12	体重測定	4.9g
5/13	体重測定	4.9g
5/14	体重測定	4.9g
5/15	体重測定	4.9g
5/16	体重測定	4.9g
5/17	体重測定	4.9g
5/18	体重測定	4.9g
5/19	体重測定	4.9g
5/20	体重測定	4.9g

TSUBASAでは、定期的に体重測定や触診を行い、記録を取って鳥たちの健康管理をしています。

近ごろ、鳥専門の病院が増えていたり、鳥を飼育する上での知識や技術などが昔に比べ、格段に良くなってきています。

また、飼育をする側の意識の変化もあり、飼い鳥の寿命が少しずつ伸びてきています。それはとても良いことではありますが、鳥さんが長生きしてくれる分、老いていく鳥さんのお世話をしっかりとあげなければなりません。

鳥さんも人と一緒に、年を取るごとに身体のあちこちに様々な問題が起こり始めるため、鳥さん一羽一羽の「老い」に合わせた様々な管理が必要になってきます。

若い頃と同じ飼育方法のままでは身体がついていかず、ケガをしてしまうことがあったり、ご飯を食べられなくなってしまうなんてこともあります。そのため、その子の衰え(体調)に合わせ

ながら環境を変えていかなければなりません。今回は、そんな老鳥と暮らしていくためのヒントになるようなお話をしていきたいと思います。

鳥の「老い」に気付くためには… 毎日の 健康チェックが 大切

鳥さんの「老い」に気付くためには毎日の健康チェックがとても大切です。健康チェックを毎日していると老いだけではなくちょっとした異常にも気づくことができるので、できる限り健康チェックをするように心がけましょう。

毎日の体重測定:鳥さんは全身が羽毛で覆われているため見た目では太っているのか痩せているのかがわかりづらいので、体重測定は鳥さんの健康を管理する上でとても大切なことです。毎日体重測定を行ってれば、鳥さんの老いに気付けるだけでなく、体重の変化にも気が付くことができ、体調不良や病気の早期発見につなげることができます。

行動から 分かる 「老い」

▶鳥さんは年を取るにつれて、筋力の低下など身体の老化により、寝ている時間が増えてきたり、あまり飛ばなくなったりと普段の行動が少しずつ減少していきます。下記に当てはまるものがある鳥さんは老化のサインかも?

老化からくる行動の変化(一例)

- うまく飛ばなくなる、高いところまで飛ばなくなる。
- 眠っている時間が増えてきた。
- 食欲が減ってきている。
- あまり動きたがらなくなる。
- 足の力が弱くなり、止まり木にうまく止まっていられなくなる。
- 動きが鈍くなる。

日頃の観察が大事! 観察していると わかる「老い」の 2パターン

▶鳥さんは見た目だけで年齢を判断することは非常に難しいですが、若い頃から毎日の健康チェックで外見を観察していればちょっとした変化を見つけることができます。身体の異常を見つけるためにも日頃からしっかりと観察しましょう。

老化からくる外見の変化(一例)

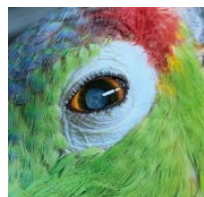
- 目が見えにくくなる、あるいは見えなくなる。
- 換羽のペースが乱れ、長引くようになる。
- 羽艶が悪くなる。
- 足の握る力が弱くなる。
- 爪やくちばしが伸びやすくなったり、変形したりする。
- 関節が曲がりづらくなる、もしくは曲がらなくなる。
- 足の表面が硬く、カサカサになる。 など

※これらの症状が老いからくるものなのか、体調不良からくるものなのかの判断は獣医さんがするものなので、様子がおかしい場合はまず、病院に行きましょう。

見た目から 分かる 「老い」



くちばしが伸びやすくなり、変形してしまった鳥さん。



白内障になってしまった鳥さんの目。

老鳥との 暮らしの中での 注意点!

① 温度管理には 十分に注意を

鳥も高齢になると、若い頃には平気だった気温でも体調を崩してしまうなんてことができます。温度管理を怠ると、鳥さんが体調を崩してしまったり食欲が落ちてしまうことも。そんなことにならないためにも、いままでは大丈夫だったからと思わず、鳥さんの様子を見ながらしっかりと温度管理を意識しましょう。

また、老鳥になると温度の変化にも弱くなりますので、適切な気温を保つことだけでなく、外の天候やすま風などによる温度のちょっとした変化にも気をつけてお世話をしてあげましょう。

保温する上でのポイント

ケージだけでなく部屋全体を暖かくしよう!

→ケージ内が温かくても、部屋が冷えているとお世話の時などに冷えた空気が入ってしまったり、放鳥でケージの外に出たら温度差が激しく、体を冷やし体調を崩してしまうなんてこともあります。なので、温度差を作らないためにも老鳥さんのいる部屋はできるだけ全体的に暖かくしてあげましょう。

② 普段の 食事に関して

鳥には老人食といったものが基本的にはありません。

シードは消化管への負担が大きく、カロリーの高いものは太りやすく内臓にあまりよくありません。

ペレットの方が老鳥の胃腸には優しくカロリーもそこまで高くないので量を調整すれば太りにくいこともあり、若い頃から普段の食事をペレットにすることを推奨しています。

これを聞くとペレットに「切り替えないと」と思ってしまうかもしれませんが、年を重ねてから新しい食べ物に挑戦することはとても難しい事です。若いうちからペレットに慣れておいてもらうことがとても大切になってきます。

特別異常がない場合は無理はせず、これまで通りの食事から少しずつ切り替えに挑戦していきましょう。

切り替え方法を詳しく知りたい方は
回覧板特別号をご覧ください➡



<https://www.tsubasa.ne.jp/study/kairanban/>

③ ケージ内の配置と ケージのサイズ

年を取ると、足の握力が弱くなったり、筋力が低下するためうまく移動できなくなったりと普段の生活にも支障が出てきます。

そんな老鳥さんが若い頃と同じ広さやレイアウトのままのケージで生活していると、怪我をしたり食欲が低下するなんてことが起こりかねません。そんなことが起こらないためにもケージ内を鳥さんの現状に合わせて作り変えてあげましょう。

例として…

- 止まり木の位置を低くする。
- ケージ内の床にクッションになるものを敷く(タオルなど)
- ケージを一回り小さくする。
- ご飯や水をすぐ届く位置に持ってくる。食器の数を増やす。
- 止まり木に滑り止めを付ける。など…。

この他にも老鳥さんのためにできる工夫はいくつかあると思います。目の前の老鳥さんに合ったケージのレイアウトなどを考えてあげてください。

鳥さんも人と同じように年を取ります。老化があらわれる年齢は個体によって変わってきますが、どんな鳥さんも必ず老鳥になる時がやってきます。少しでも長く元気で暮らしてもらうためにも毎日の観察が



美葉里(みはり)
@オカメインコ
1997年生まれの子。足の握力がなく、滑ってしまうので止まり木を低くし、滑り止めを付けています。写真では分かりませんが、敷き紙の下には、クッションとしてタオルを敷いています。

オールド
@キエリボウシニコ
施設で最年長の今年で55歳のおばあちゃんです。止まり木を低くし、足の握力がなく滑ってしまうことと、体重が重く足の裏に負担がかかってしまうため滑り止めを付けています。



とても大切です。少しでもお家の愛鳥さんに「老い」を感じたら、その子の状態に合ったケアをしてあげてください。どうしたらいいかわからない場合は、かかりつけの獣医さんに相談されるのがいいかもしれません。

抜けた羽？抜いた羽??

鳥たちの羽を知ろう



羽は、私たち人間にはない鳥類の特徴です。私たち人間の毛髪や爬虫類の鱗と同じケラチンと呼ばれるタンパク質でできています。一枚一枚は小さく軽い羽ですが体重の約10%を占め、セキセイインコでも2000枚から3000枚の羽毛があるといわれています。

羽の役割 ①飛行 ②断熱 ③その他(求愛や威嚇、巣材、感情表現)

空を飛ぶために羽が大切なのはご存じだと思いますが、空を飛べない鳥にも羽は生えています。本来一番大事な羽の役割は、実は断熱(羽で身体を覆うことで身体の熱が外に逃げるのを防ぐ)といわれています。

換羽について

鳥の種類により若干の差がありますが、年に最低でも1回は生え替わります(換羽)。一般的にはインコオウム類は発情期→換羽というサイクルを持つので、TSUBASAでは換羽の記録も付け発情とのバランスなどを見ています。ただし換羽は発情だけでなく、季節、温度、栄養、種類、性別等の様々な要因に左右されるので全てを一括りにはできません。※過発情の鳥の場合、年に何度も発情が起こり収まる度に換羽が来る等乱れている場合もあります。



2、3日間で抜けたセキセイインコの羽。約150枚、換羽で一気に抜けました。

換羽の注意点：羽の主成分はタンパク質。換羽期は新たな羽を作るため多くのタンパク質を必要とし、羽が抜けることで断熱機能も低下。体調を崩しやすい鳥が増えるので体重測定や保温に注意し、不調にいつも以上に気を配る必要があります。場合によっては、ご飯の内容を変えたり通院をする必要も出てきます。

これは抜けただけ？ それとも毛引き？

鳥が自分で羽をむしってしまう毛引きと換羽、どちらか見分けがつかない...? TSUBASAの鳥たちの羽でご紹介。



鳥の体には様々な形の羽が生えていますが、多くの羽に羽軸根があり、その断面の状態が毛引きかどうかを判断する鍵になります。ただし、綿羽と呼ばれる綿状の羽はほとんど羽軸を持たないのでそこで毛引きを判断するのは難しいかもしれません。※PBFDFという病気で、羽が脱落する場合があります。おかしいと思ったら、健康診断を兼ねて病院へ行くことをお勧めします。

毛引きの様子で判断するヒント

- 抜けた羽の先端が不揃い。ギザギザしている。
- 羽軸の途中から切れている。
- 羽繕いの際に、痛がるような声を上げる。(羽が落ちる)
- 一カ所だけ過剰に羽づくろいを行い、そこだけ羽が薄い(通常、生えているべき場所)
- 新生羽(成長中の羽)が落ちている
※換羽では抜けません。

通常の換羽で抜けた羽



羽軸根の中が空洞で断面がなめらか

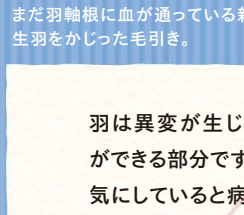
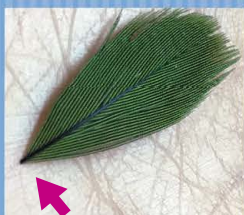


自分の抜けた羽で遊ぶシロ@アオメキバタン。施設では抜けた羽をオモチャにする場合は、すぐに片付けています。

毛引きで抜けた羽



新生羽：生えかけの血が通った羽なのでかじると出血します。



まだ羽軸根に血が通っている新生羽をかじった毛引き。

かじり取った先端は、ギザギザしていて自然に換羽期で抜けた羽とは状態が異なることが多い

羽は異変が生じた時に、飼い主様が気づくことができる部分です。羽の太さ、色、抜け落ち方などに気していると病気の早期発見にも繋がります。ぜひ、日頃から気にしてみてくださいね。

参考文献：小嶋篤史(2010)『コンパニオンバードの病気百科』誠文堂新光社 / 磯崎哲也(2009)『楽しく暮らせるかわいいういんこの飼い方』ナツメ社

発情と上手く付き合おう!



発情は鳥と付き合っていく上で、切っても切れないものであり、同時に飼育をする上で最も難しいものと言えます。愛鳥さんの健康のためにも、発情とは上手く付き合っていく必要があります。

どうして発情するの?

鳥は通常、1年に数回、発情をすると言われています。

主に春先の暖かくなるシーズンで、気温や日照時間の変化、発情が起こせる程の豊富な食べ物が手に入ることによって、発情することができます。

一言で言えば、**鳥は季節の変化によって発情をする生き物**と言えます。

ところが飼ひ鳥の場合、室内で飼育をしている分、季節感が分かり辛く、餌も毎日沢山もらうことができ、大好きな鳥や飼ひ主の存在といった発情対象がそばにあります。

野生下の鳥と比べると、**飼ひ鳥は発情しやすい環境下で生活**していると言えます。

野生下の鳥と飼ひ鳥の環境の違い

	野生下の鳥	飼ひ鳥
食餌	常に採らなければならない(食餌が採れないこともある) →低カロリー気味、沢山食べられるのは発情の時期のみ	毎日供給される →沢山食べられることで高カロリー気味
緊張感	あり(生存競争、外敵に狙われる等)	無し(室内、ケージ内で安全に過ごせる)
発情の対象	仲間の鳥	一緒に暮らしている鳥、飼ひ主、オモチャ、止まり木 等
起きている時間	短め(日照時間に左右される)	長め(飼ひ主の生活リズムに左右される)
温度	季節を感じる生活(温度の変化が激しい)	室内のため変化が少ない、もしくは暖かすぎて過保護な環境で過ごす

発情が長引くと何が起こるの?

通常の範囲であれば発情は自然なものではありますが、発情が長引くと、様々な弊害が起こります。オスもメスも体に負担が掛かるだけでなく、病気のリスクも高まります。愛鳥さんの健康のためにも、出来るだけ発情を長引かせないような生活を心掛けましょう。

- 持続発情状態となり、エストロゲン(女性ホルモン)が持続的に分泌され、高エストロゲン血症という状態となり、骨にカルシウムが過剰に蓄積され、関節の変形や飛行困難、歩行の異常が生じる
- 性格が攻撃的になる傾向がある
- 繁殖の欲求が満たされないことから、毛引きに発展することがある
- 常に卵巣が発達した状態となり、過剰な産卵や卵巣腫瘍といった重大な病気が引き起こされるリスクが高まる

メス

- 過剰な吐き戻しによりそのう炎を引き起こす
- 性格が攻撃的になる傾向がある
- 繁殖の欲求が満たされないことから、毛引きに発展することがある
- 常に精巣が発達した状態となり、精巣が通常時と比べ10倍以上に肥大化。足の神経が圧迫され下半身麻痺の原因となるほか、精巣腫瘍等の重大な病気のリスクが高まる

オス

発情の原因と対策

① 日照時間、温度

日照時間(明るい時間帯)が長いことや、過保護な温度管理により、発情を促すことがあります。愛鳥さんの無理のない範囲で、季節感を感じる管理を心掛けましょう。

- 対策
- ▶ 日照時間を11時間以内にする
 - ▶ 寝かす際は真っ暗で静かな部屋で過ごさせる(リビング等、騒がしい所や明かりが漏れると、意味がありません)
 - ▶ 過保護な温度管理で過ごさせない(寒がっていないのに保温をしない)

② 過度なスキンシップ(体を触る、距離感が近い)

鳥は本来、発情のシーズン以外は体を触られることはないと言われています。特にメスの場合、背中への刺激は交尾の刺激として認識されることがあります。触られることで喜ぶ鳥もいますが、健康にとって良いとは言えません。また、飼ひ主との距離感が近すぎることで、飼ひ主に対して発情をしてしまいます。適度な接し方と距離感を維持するようにしましょう。

- 対策
- ▶ 首より下の体は触らない
 - ▶ 適度な距離感を保つ
 - ▶ 体が触れて発情を促す行動をさせない(狭いところへ潜る等)

③ 発情の対象物がある、環境の変化が少ない

ペアの鳥やおもちゃ、止まり木やバードテント等、様々なものが発情の対象物となります。発情の対象物によって対応は変わりますが、対象物が判明しているのであれば、原因を取り外すべきです。また、ケージ内や場所が一定である場合、安心できる環境(巣)として認識され落ち着いてしまいます。環境が一

定で変化が少ないと、それだけ発情をする隙が生まれてしまうのです。

- 対策
- ▶ 発情の対象が物の場合:ケージから取り外す(あらかじめ複数個おもちゃのストックを用意し、定期的に交換すると予防になる)
 - ▶ 発情の対象が鳥の場合:ケージや部屋を分ける(普段仲の良い鳥同士でも大怪我をするほど喧嘩することがある)
 - ▶ 発情の対象が人の場合:対象の人はお世話を控える、一時的に預ける、変装する
 - ▶ ケージの場所を定期的に移動する

④ 食餌が豊富、高カロリーすぎる

食餌量が多ければ、余分なエネルギーを蓄えられるので発情を促してしまいます。野生下の鳥は、発情ができるほどのエネルギーが取れる食餌を頻りに摂取できません。特定のシーズンでないと、栄養価の高い食べ物が豊富に育たないからです。

たとえ高カロリーな食餌を与えていなかったとしても、食べ過ぎていては結局、エネルギーが有り余ってしまいます。

太っている子に限らず、普通の体格の子でも、体重を維持できるギリギリの量に制限をすることで、発情を抑えることができます。

- 対策
- ▶ 高カロリーな食餌(ヒマワリ、麻の実等のシード類)は常食にしない
 - ▶ その鳥の適正体重を知ること、その体重を維持するために必要な餌の量を調べる

発情の原因と対策は、鳥によっても様々です。

無理強いせず、かかりつけの獣医さんとも相談しながら対策していきましょう。

愛鳥祭 2019 レポート

6月1日、2日に浅草の台東館にて、オウムとインコの日チャリティイベント「愛鳥祭2019」を開催致しました。愛鳥祭は「常識から良識」というコンセプトの元、会場を一巡すると良識が身につくような、多くの鳥たちと愛鳥家を幸せにすることを目指したイベントです。第4回となる今年は、2日間で約2,700人以上の方にお越しいただき、終始賑わいを見せた2日間となりました。ご来場いただいた皆さまに心から御礼申し上げます。



鳥グッズ販売

企業やクリエイターの方々による
鳥グッズ販売コーナー



シンポジウム・セミナー

愛鳥祭のコンセプトを
中心にした
セミナーや講演を
開催しました。



ふれあい 愛鳥塾

施設内のバードランを
再現したコーナー。
講習会を受けていただき、
人も鳥も幸せになるような
触れ合い方を体験して
いただきます。



第5回愛鳥祭2020

第5回愛鳥祭2020のご案内
来年度の開催も決定しました。新たなチャレンジとして
新しい会場で開催します。皆さまのお越しを心よりお待ちしております！

- 日時：2020年9月21日(月祝) ※1日みの開催です
- 会場：東京都立産業貿易センター 浜松町館 4階展示室(全室)
- 詳細：<https://aichousai.jimdo.com> 情報は、随時告知していきます♪



バーチャルMTB

里親会(MTB)についての説明や
遠方の方向けの
里親になっていただくシステム
(バーチャルMTB)について
ご紹介しました。



土日祝 定期便運行! 13:00 14:00

【営業時間 土日祝】1F：店舗・バードラン 13:00~17:00 / 2F：鳥たちを見られる空間 13:00~16:00
【アクセス】埼玉県新座市中野2-2-22 / 東武東上線「柳瀬川駅」から徒歩約25分
【Tel】048-480-6077 【Fax】048-480-6078 【e-mail】tsubasa0615@gmail.com

【発行元】認定NPO法人 TSUBASA
松本壯志 / 涌井智美 / 望月健人 /
加藤絵里 / 柴山玲 / 戸島万記子
【発行】2019年8月
次回発行は2020年1月予定です。
誌面の情報は発行日現在のものです。
情報に変更が生じる場合がございます
のでなにとぞご了承ください。